

## 国民年金だよ



### ◆20歳を迎える方へ

公的年金制度は、老後の暮らしをはじめ、不慮の事故や病気により障がいが残ったときなどに、働いている世代みんなで暮らしを支え合うという考えで作られた仕組みです。

国民年金保険料を納め続けることで、老後のための「老齢年金」のほか、障がいが残ったときには「障害年金」を、家族の働き手が亡くなったときには「遺族年金」を受け取ることができます。

原則として、保険料を納めていなければ、これらの年金を受け取ることができませんのでご注意ください。

### ●国民年金の加入について

日本国内に住む全ての方は、20歳になる誕生日の前日から国民年金の被保険者（加入者）となります。

20歳になってからおおむね2週間以内に、日本年金機構から基礎年金番号通知書や国民年金加入のお知らせ、国民年金保険料納付書、保険料の免除・納付猶予制度と学生納付特例制度の申請書などが送付されます（被用者保険に加入している方を除く）。

基礎年金番号通知書は、加入する年金制度の変更手続や年金の請求手続など、一生をとおして使用しますので、大切に保管してください。

### ●保険料の納付方法と納付期限

保険料は、納付書を使用して金融機関やコンビニエンスストアで納めることができるほか、電子納付や口座振替、クレジット納付も可能です。

保険料の納付期限は、納付対象月の翌月末日となりますので、納め忘れに注意しましょう。

※月末が土日や祝日、年末年始の場合は、翌月最初の営業日が納付期限です。

### ◆学生には、申請による学生納付特例制度があります。

学生で、本人の所得が一定以下の場合、申請により保険料の納付を猶予（先送り）することができます。過去、2年1か月分まで遡って申請することができますが、すみやか

な手続に心がけましょう。

なお、申請できる期間は、申請書1枚につき最大1年度分です。一度申請すると、在学期間中は、毎年4月に更新手続の案内が届きます。継続して納付猶予が必要な場合は、都度、申請してください。

※学生の方は、免除・納付猶予制度は利用できません。

### ●申請方法

次の書類を持参のうえ、住民登録のある市区町村窓口又は最寄りの年金事務所に提出してください。

また、マイナンバーから電子申請することもできます。

### 【手続に必要な書類】

- ①基礎年金番号通知書の写し
- ②在学期間がわかる在学証明書の原本又は学生証（裏面を含む）の写し

### ●保険料の追納

学生納付特例制度の承認を受けた期間は、各年金の受給資格期間に含まれますが、老齢基礎年金額には反映されません。このため、将来満額の老齢基礎年金を受け取るためには、学生納付特例の承認を受けた期間の保険料を10年以内に納付（追納）する必要があります。

### ◆年金事務所への年金相談や手続の際は、事前予約を

日本年金機構の全国の年金事務所では、年金相談や各種手続について、事前予約が可能です。待ち時間の少ない予約相談をぜひご利用ください。

①予約は、相談希望日の1か月前から前日まで受付しています。

②予約の際は、基礎年金番号が分かるもの（基礎年金番号通知書や年金手帳、年金証書など）を用意し、旭川年金事務所又は全国共通の予約専用受付電話「0570-05-4890」にお申込みください。

### ◇お問い合わせ先

住民課戸籍年金医療グループ  
☎26-9026  
日本年金機構旭川年金事務所  
☎0166-25-5606

